

## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ジー・テイスト

コード番号 2694 URL <http://www.g-taste.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲吉 史泰

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 岩崎 友也

TEL 022-762-8540

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,755	△9.9	129	△48.2	119	△49.8	33	△79.9
24年3月期第1四半期	4,167	1.5	250	—	237	—	166	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	0.45	0.45
24年3月期第1四半期	2.51	2.25

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	11,076	5,072	45.8	68.22
24年3月期	11,557	5,039	43.6	67.77

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 5,072百万円 24年3月期 5,039百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,678	△8.4	278	△41.1	267	△40.3	135	△52.9	1.83
通期	15,601	△7.7	707	△37.0	691	△35.5	488	△30.3	6.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	74,364,376 株	24年3月期	74,364,376 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	1,199 株	24年3月期	1,149 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	74,363,189 株	24年3月期1Q	66,184,643 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しており、四半期レビュー報告書を本日付で受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興支援策やエコカー補助金等の政策効果による個人消費の回復が見られたものの、国内における消費税増税法案の衆議院可決や夏の電力供給不足への懸念及び、欧州通貨危機による海外景気の減速等、依然として先行きが不透明な状況で推移いたしました。

外食産業におきましては、市場規模が縮小傾向にあるなかで、顧客の低価格志向が定着しつつあり、同業他社との企業間競争も激化するなど、引き続き厳しい経営環境が予想されます。

このような状況のもと、当社では、前事業年度に引き続き収益力を改善すべく、不採算店舗の撤退や、業態変更等による既存店のさらなる強化をすすめるとともに、フランチャイズ店の出店についても積極的に進めるべく、努めてまいりました。しかしながら、当社の主要営業エリアの一つである東北地方においては、東日本大震災の復興需要等も徐々に落ち着きをみせはじめたことから、前事業年度に比べると業績は厳しいものとなりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高37億55百万円（前年同四半期比9.9%減）、営業利益1億29百万円（前年同四半期比48.2%減）、経常利益1億19百万円（前年同四半期比49.8%減）となり、収益力改善を図るため不採算店舗の撤退費用等の特別損失を65百万円計上した結果、四半期純利益は33百万円（前年同四半期比79.9%減）となりました。

セグメント業績は、次の通りであります。

寿司事業におきましては、当第1四半期会計期間末の店舗数は、不採算店舗等2店舗を閉店した結果、70店舗となりました。当事業では、「復興応援食材」を使用した期間限定メニューのご提供、全店でのグランドメニューの改定、また、宅配専門店「宅配平禄」の期間限定寿司などを充実させ、多彩なメニューの開発と新たな顧客層の獲得に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高13億33百万円（前年同四半期比8.7%減）、セグメント利益（営業利益）74百万円（前年同四半期比57.8%減）となりました。

居酒屋等事業におきましては、当第1四半期会計期間末の店舗数は、不採算店舗2店舗を閉店し、業態変更1店舗、新規1店舗開店しました結果、122店舗となりました。当事業では、主力業態である「とりあえず吾平」「村さ来」「ちゃんこ江戸沢」における春夏向けグランドメニューの改定をはじめ、各業態独自の挟み込みメニュー等を導入し、集客とメニューの充実化に対して重点的に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高21億60百万円（前年同四半期比11.7%減）、セグメント利益（営業利益）1億80百万円（前年同四半期比36.6%減）となりました。

教育事業におきましては、当第1四半期会計期間末の直営校舎数は40校舎となりました。英会話教室においては、目的に合わせてレッスンを受けることができる短期集中受講コース「NOVA Plus」の販促活動や、新規加入促進のためのキャンペーン等を展開し、新規生徒の獲得に取り組んでまいりました。学習塾においては、通常講習や夏期冬期講習の更なる充実化を図りながらも、需要期である夏期に向けて、生徒数増加に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高1億60百万円（前年同四半期比0.5%減）、セグメント利益（営業利益）13百万円（前年同四半期比54.3%減）となりました。

その他事業には、不動産賃貸料収入等が含まれ、当第1四半期累計期間におきましては、売上高1億円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント利益（営業利益）10百万円（前年同四半期比40.1%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末の総資産は110億76百万円となり、前事業年度末より4億80百万円減少しております。その主な要因は、税金の支払い、借入金の返済による現金及び預金の減少4億28百万円があったことによるものであります。

負債総額は60億3百万円となり、前事業年度より5億13百万円減少しております。その主な要因は長短借入金の減少2億83百万円、買掛金の減少65百万円、流動負債「その他（未払消費税等）」の減少1億3百万円によるものであります。

純資産は、50億72百万円となり、前事業年度より33百万円増加しております。その主な要因は四半期純利益33百万円の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想に関しては、平成24年5月7日に開示いたしました「平成24年3月期決算短信（非連結）」からの変更は行っておりません。

なお、業績予想は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,788,778	1,360,270
受取手形及び売掛金	228,938	198,016
商品	10,622	11,406
原材料及び貯蔵品	119,477	118,335
その他	626,680	705,748
貸倒引当金	△11,558	△11,073
流動資産合計	2,762,937	2,382,704
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,089,289	2,052,485
土地	2,078,035	2,078,035
その他(純額)	211,138	230,775
有形固定資産合計	4,378,462	4,361,295
無形固定資産		
のれん	570,217	549,487
その他	64,549	64,386
無形固定資産合計	634,766	613,873
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,043,982	2,974,513
その他	905,875	911,992
貸倒引当金	△168,765	△167,574
投資その他の資産合計	3,781,092	3,718,931
固定資産合計	8,794,322	8,694,101
資産合計	11,557,259	11,076,805
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	464,134	398,161
短期借入金	596,714	456,555
1年内返済予定の長期借入金	1,287,797	1,239,371
未払法人税等	87,656	35,441
引当金	118,260	79,742
資産除去債務	7,951	5,348
その他	1,397,040	1,373,983
流動負債合計	3,959,554	3,588,605
固定負債		
社債	45,000	30,000
新株予約権付社債	345,000	345,000
長期借入金	901,155	806,129

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
退職給付引当金	66,878	66,878
資産除去債務	533,858	527,295
その他	666,333	640,039
固定負債合計	2,558,226	2,415,342
負債合計	6,517,781	6,003,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,785,195	1,785,195
資本剰余金	2,675,617	2,675,617
利益剰余金	578,757	612,139
自己株式	△92	△95
株主資本合計	5,039,478	5,072,857
純資産合計	5,039,478	5,072,857
負債純資産合計	11,557,259	11,076,805

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,167,086	3,755,214
売上原価	1,431,959	1,317,802
売上総利益	2,735,127	2,437,412
販売費及び一般管理費	2,485,011	2,307,802
営業利益	250,116	129,609
営業外収益		
受取利息	1,989	1,678
受取配当金	131	131
負ののれん償却額	12,192	4,279
デリバティブ評価益	10,114	—
雑収入	8,227	9,445
営業外収益合計	32,653	15,534
営業外費用		
支払利息	23,334	18,354
雑損失	22,422	7,754
営業外費用合計	45,757	26,109
経常利益	237,012	119,035
特別利益		
有価証券売却益	12	—
特別利益合計	12	—
特別損失		
店舗閉鎖損失引当金繰入額	1,155	36,999
減損損失	712	28,130
店舗閉鎖損失	—	727
特別損失合計	1,867	65,857
税引前四半期純利益	235,157	53,177
法人税、住民税及び事業税	23,426	22,004
法人税等調整額	45,512	△2,207
法人税等合計	68,939	19,796
四半期純利益	166,217	33,381



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。